

授業科目	* 成人・老年看護学演習				単位	2				
履 修	必修	関連資格				ナンバリング	NU21314J			
開講年次	3 年	開講時期	前期	該当DP	DP1-2 DP2-1 DP3-1 DP4-1 DP5-1 DP5-2					
担当教員	大嶋 満須美、高橋 甲枝、吉原 悦子、財津 倫子、中原 智美、溝部 昌子									
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>1. 健康障害を持つ成人期・老年期患者の療養生活を支援するために必要な看護能力を育成することを目的として、模擬患者情報を用いて看護過程を展開する。演習方法は各段階の課題に個人ワークとグループワークを連動させ主体的な学習活動で進める。</p> <p>2. 成人期・老年期患者の療養生活を支援するための生活援助技術、診療補助技術、セルフケア確立技術等を実務経験のある教員の指導のもと演習する。</p>									
学生が達成すべき行動目標	<p>【看護過程】</p> <p>1. 模擬患者の疾病に関連する基盤的知識を述べることができる。(DP1-2)</p> <p>2. 事例に関心・意欲を持ち看護過程の展開ができる。(DP2-1)(DP3-1)</p> <p>3. 模擬患者情報を適切に捉え分析し、患者の健康問題を適切に列挙できる。(DP2-1)</p> <p>4. 指定された健康問題に対する個別的な看護計画を設定できる。(DP2-1)</p> <p>5. 経過情報に基づいて SOAP を記述し患者の状況を評価できる。(DP2-1)</p> <p>6. グループワークにおけるリーダーシップ・メンバーシップの役割を身につけることができる。(DP4-1)</p> <p>【看護技術】</p> <p>1. 課題となる援助技術を患者の安全・安楽をふまえて適切に実施できる。(DP5-1)(DP5-2)</p> <p>2. 実施に際して患者の心理面への配慮ができる。(DP5-1)(DP5-2)</p>									
達成度評価										
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考		
総合評価割合	50	0	25	20	5	0	100			
知識・理解 (DP1-1)										
知識・理解 (DP1-2)	15		0				15			
知識・理解 (DP1-3)										
知識・理解 (DP1-4)										
思考・判断 (DP2-1)	35		20				55			
思考・判断 (DP2-2)										
関心・意欲 (DP3-1)			5				5			
関心・意欲 (DP3-2)										
態度 (DP4-1)				5	5		10			
態度 (DP4-2)										
態度 (DP4-3)										
技能・表現 (DP5-1)				5			5			
技能・表現 (DP5-2)				10			10			
技能・表現 (DP5-3)										
具体的な達成の目安										
理想的レベル					標準的なレベル					

・看護過程に関する目標 6 項目と成人・老年期に関する技術演習に関する目標 2 項目を 80%以上達成している。		・看護過程に関する目標 6 項目と成人・老年期に関する技術演習に関する目標 2 項目を 70~80%達成している。		
授業計画				
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	科目のオリエンテーション 看護技術演習 (担当:成人・老年担当者及び演習補助教員) * A・B の 2 グループに分かれ演習 A:手術直後の観察と援助(I) B:片麻痺患者の車椅子-トイレ移乗	・シラバスを用いてオリエンテーションを行う ・技術演習	※課題はオリエンテーション資料参照。 課題技術の確認	60
2	看護技術演習 (担当:成人・老年担当者及び演習補助教員) * A・B の 2 グループに分かれ演習 A:手術直後の観察と援助(I) B:片麻痺患者の車椅子-トイレ移乗	技術演習	※オリエンテーション資料参照。 課題技術の確認	60
3	看護技術演習 (担当:成人担当者及び演習補助教員) * A・B の 2 グループに分かれ演習 A:糖尿病食事療法教育 B:手術直後の観察と援助(I)	技術演習	※オリエンテーション資料参照。 課題技術の確認	60
4	看護技術演習 (担当:成人担当者及び演習補助教員) * A・B の 2 グループに分かれ演習 A:糖尿病食事療法教育 B:手術直後の観察と援助(I)	技術演習	※オリエンテーション資料参照。 課題技術の確認課題	60
5	看護技術演習 (担当:成人・老年担当者及び演習補助教員) * A・B の 2 グループに分かれ演習 A:片麻痺患者の車椅子-トイレ移乗 B:糖尿病食事療法教育	技術演習	※オリエンテーション資料参照。 課題技術の確認	60
6	看護技術演習 (担当:成人・老年担当者及び演習補助教員) * A・B の 2 グループに分かれ演習 A:片麻痺患者の車椅子-トイレ移乗 B:糖尿病食事療法教育	技術演習	※オリエンテーション資料参照。 課題技術の確認	60
7	看護過程(肝硬変) (担当:成人・老年看護学教員全員) ・解説と説明 ・データベースアセスメントの検討	・合同で解説と説明を行う。 ・グループワーク	※課題はオリエンテーション資料参照。	60
8	看護過程(肝硬変) (担当:成人・老年看護学教員全員) ・データベースアセスメントの検討	グループワーク	※課題はオリエンテーション資料参照。	60

9	看護過程(肝硬変) (担当:成人・老年看護学教員全員) ・アセスメントの検討 ゴードンの「機能的健康パターン」に基づく情報分析	・グループワーク	※課題はオリエンテーション資料参照。	60
10	看護過程(肝硬変) (担当:成人・老年看護学教員全員) ・アセスメントの検討 ゴードンの「機能的健康パターン」に基づく情報分析	グループワーク	※課題はオリエンテーション資料参照。	60
11	看護過程(肝硬変) (担当:成人・老年看護学教員全員) 解説と説明 ・全体像 ・統合の過程 ・看護問題の明確化 ・問題リスト	・合同で解説と説明を行う ・グループワーク	※課題はオリエンテーション資料参照。	60
12	看護過程(肝硬変) (担当:成人・老年看護学教員全員) ・全体像と看護問題の明確化 ・統合の過程 ・問題リスト	・グループワーク	※課題はオリエンテーション資料参照。	60
13	看護過程(肝硬変) (担当:成人・老年看護学教員全員) ・看護目標設定 ・看護計画立案	・グループワーク	※課題はオリエンテーション資料参照。	60
14	看護過程(肝硬変) (担当:成人・老年看護学教員全員) ・看護目標の設定と計画立案 ・経過記録、評価日評価について説明	・グループワーク ・グループ発表	※課題はオリエンテーション資料参照。	60
15	看護過程(肝硬変) (担当:成人・老年看護学教員全員) ・経過記録 ・評価日評価	・グループワーク	※課題はオリエンテーション資料参照。	60
16	看護過程(肝硬変) (担当:成人・老年看護学教員全員) ・経過記録、評価日評価 ・解説	・グループワーク ・合同で解説と説明を行う	※課題はオリエンテーション資料参照。	60
17	看護過程(胃がん) (担当:成人・老年看護学教員全員) ・急性期で重要なアセスメントの視点について解説 ・全体像の解説 ・データベースの修正 ・全体像の検討	・オリエンテーション ・合同で解説と説明を行う	※課題はオリエンテーション資料参照。	60
18	看護過程(胃がん) (担当:成人・老年看護学教員全員) ・全体像の解説 ・データベースの修正 ・全体像	グループワーク	※課題はオリエンテーション資料参照。	60
19	看護過程(胃がん) (担当:成人・老年看護学教員全員)	・合同で解説と説明を行う	※課題はオリエンテーション資料参照。	60

	<ul style="list-style-type: none"> ・看護問題の明確化及び問題リスト、看護目標について解説 ・看護計画の視点について解説 ・課題について検討・修正 	・グループワーク		
20	看護過程(胃がん) (担当:成人・老年看護学教員全員) <ul style="list-style-type: none"> ・看護診断の明確化 ・看護目標の修正 ・看護計画立案 	・グループワーク	※課題はオリエンテーション資料参照。	60
21	看護過程(高齢者) (担当:成人・老年看護学教員全員) <ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション * A または B の看護過程の展開 A:脳梗塞、片麻痺、半側空間無視、嚥下障害、認知機能低下、低栄養 B:パーキンソン病、誤嚥性肺炎、嚥下障害、認知機能低下、低栄養 <ul style="list-style-type: none"> ・病像シートの共有 ・アセスメントの視点 	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・課題に基づいた共同学習 ・講義 	予習:提示されたキーワードに添い病像シートを作成する。 復習:共有した別のグループの病像シートを理解する。	60
22	看護過程(高齢者) (担当:成人・老年看護学教員全員) <ul style="list-style-type: none"> ・データベースアセスメントの共有 ・看護診断 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に基づいた共同学習 ・講義 	予習:講義で示されたアセスメントの視点に添いデータベースアセスメントを作成する。 復習:共有した別のグループのデータベースアセスメントを理解する。	60
23	看護過程(高齢者) (担当:成人・老年看護学教員全員) <ul style="list-style-type: none"> ・全体像 ・看護診断 ・看護計画 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に基づいた共同学習 ・講義 ・グループ発表 	予習:講義で示された看護診断を参考に全体像、診断名リストを作成する。 復習:共有した別のグループのデータベースアセスメントを理解する	60
24	看護過程(高齢者) (担当:成人・老年看護学教員全員) <ul style="list-style-type: none"> ・看護計画 ・摂食・嚥下評価と食事の援助 ・片麻痺患者の車椅子-トイレ移乗 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に基づいた共同学習 ・講義 	予習:講義で示された例をもとに看護計画を作成する。 復習:実習手順書の作成	60
25	看護技術演習 (担当:成人・老年担当者及び演習補助教員) <ul style="list-style-type: none"> * A・B の 2 グループに分かれ演習 A:手術直後の観察と援助(Ⅱ) B:摂食・嚥下評価 	技術演習	※オリエンテーション資料参照。 課題技術の確認課題	60
26	看護技術演習 (担当:成人・老年担当者及び演習補助教員) <ul style="list-style-type: none"> * A・B の 2 グループに分かれ演習 A:手術直後の観察と援助(Ⅱ) B:摂食・嚥下評価 	技術演習	※オリエンテーション資料参照。 課題技術の確認課題	60
27	看護技術演習 (担当:成人担当者及び演習補助教員) <ul style="list-style-type: none"> * A・B の 2 グループに分かれ演習 A:自己血糖測定・インスリン注射 B:手術直後の観察と援助(Ⅱ) 	技術演習	※オリエンテーション資料参照。 課題技術の確認	60
28	看護技術演習 (担当:成人担当者及び演習補助教員)	技術演習	※オリエンテーション資料参照。	60

	* A・B の 2 グループに分かれ演習 A: 自己血糖測定・インスリン注射 B: 手術直後の観察と援助(Ⅱ) .		課題技術の確認	
29	看護技術演習 (担当:成人・老年担当者及び演習補助教員) * A・B の 2 グループに分かれ演習 A: 摂食・嚥下評価 B: 自己血糖測定・インスリン注射	技術演習	※オリエンテーション資料参照。 課題技術の確認	60
30	看護技術演習 (担当:成人・老年担当者及び演習補助教員) * A・B の 2 グループに分かれ演習 A: 摂食・嚥下評価 B: 自己血糖測定・インスリン注射	技術演習	※オリエンテーション資料参照。 課題技術の確認	60
理解に必要な予備知識や技能	基礎看護学演習(看護過程)、形態機能学、疾病各論、薬理学、看護のための臨床検査、成人老年看護学概論、成人慢性期看護方法論、成人急性期看護方法論、老年看護方法論で学んだ既習の知識及び生活・診療援助技術の確認。必要なテキスト・資料類は授業に持参してください。			
テキスト	リンダJ. カルペニート:看護診断ハンドブック第 10 版 医学書院			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	成人・老年看護学概論、成人慢性期看護方法論および成人急性期看護方法論で用いた教科書・資料 マジョリー・ゴードン著、江川隆子訳:ゴードン博士の看護診断アセスメント指針 照林社 臨床検査学、薬学、疾病学、形態機能学、基礎看護学等に関連する図書・資料			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	毎回のグループワークの前準備として、個人ワークの課題を出します。グループワークに効果的に参加するために既習の科目や関連図書を参考にして準備をしましょう。			
達成度評価に関するコメント	看護過程展開 80%(期末試験 50%, 個人課題レポート・グループワーク参加状況・グループワーク成果 30%) 技術演習 20% (但し、技術演習は全ての技術項目が合格域に達しなければならない) 評価項目は授業の中で説明する。			